

I 第五次玄海町総合計画（中期計画）の検証・評価の概要

(1) 検証・評価の目的

「第五次玄海町総合計画」は平成28年度から令和7年度までの基本構想のもと、前期3年、中期4年、後期3年の基本計画により各事業を行っている。現在中期計画の4年目にあたり、後期計画の達成と基本構想の達成に向けて、基本計画の進捗状況を把握し、各事業の改善や見直しにつなげるために検証・評価を実施するものである。

(2) 検証・評価の手法

- ・総合計画の基本目標に掲げる7分野の各施策の「まちのとりくみ」に基づき実施している事業について、現状を把握・検証し、「とりくみ」の方向性を確認する。
- ・「まちのとりくみ」に対する進捗状況を踏まえ、後期基本計画による目標達成に向けた既存事業の改善や統廃合、事業新設などを行う。
- ・令和4年度は中期計画の最終年度として、施策下の項目ごとに4年分の行政評価を次の4段階評価により行った。

A：各事業とも進捗が順調であり、「とりくみ」の水準を達成している。

B：各事業の進捗は概ね順調であり、「取り組みの水準を概ね達成しつつある。

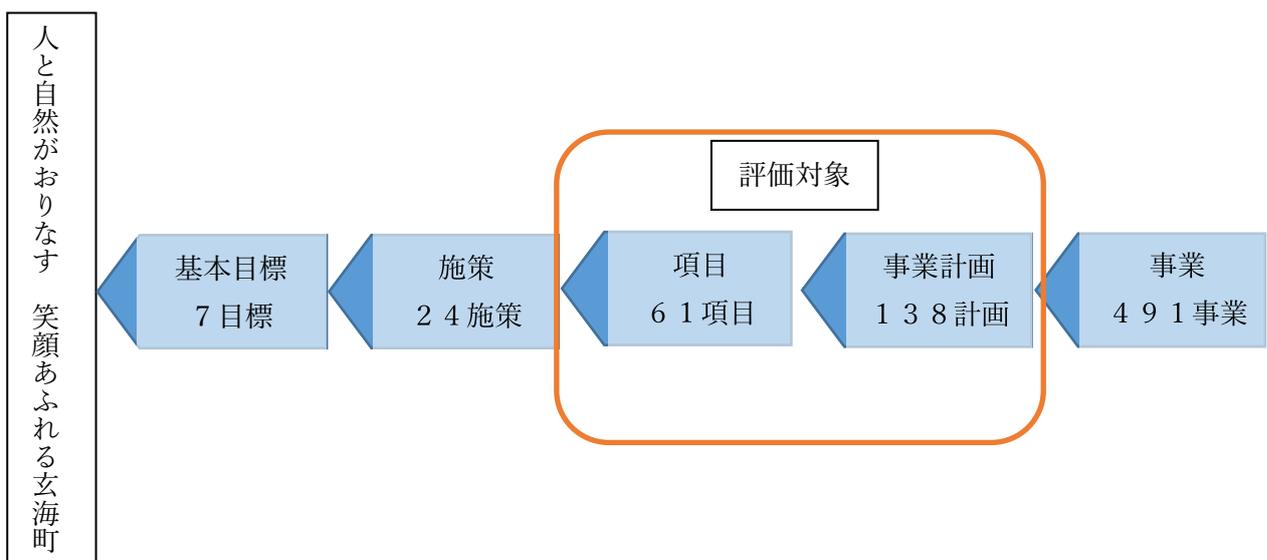
C：進捗が遅れている事業があり、「とりくみ」の水準には十分ではない。

D：ほぼすべての事業に進捗の遅れがみられ、「とりくみ」の水準を下回っている。

(3) 総合計画の構成と反映

今回の中期計画評価にあたっては、項目にぶら下がる事業計画の成果と進捗状況に基づき、事業計画の評価を行ったものである。

この結果を後期計画に反映させ、総合計画の達成に向けて残りの3年間、事業に取り組む。



II 第五次玄海町総合計画（中期計画）の施策体系

将来像「人と自然がおりなす笑顔あふれる玄海町」

基本目標	施策
1 環境分野 自然と共生するまち	1-1 自然環境の保全
	1-2 循環型社会の形成
	1-3 景観の整備・形成
2 産業分野 活力が向上するまち	2-1 農林水産業の振興
	2-2 商工業・サービス業の振興
	2-3 観光の振興
3 教育分野 次代を育成するまち	3-1 子育て支援の充実
	3-2 学校教育の充実
	3-3 生涯学習・スポーツ・文化活動の推進
4 健康分野 福祉が充実するまち	4-1 住民の健康づくりの推進
	4-2 地域福祉・社会保障の充実
	4-3 高齢者福祉の充実
	4-4 障がい者福祉の充実
5 安全分野 安心を確保するまち	5-1 消防・防災対策の充実
	5-2 交通安全・防犯の充実
	5-3 生活トラブル対策の充実
6 快適分野 ここちよい生活ができるまち	6-1 道路・交通網・公園の充実
	6-2 ここちよい住環境の整備
	6-3 上下水道の充実
	6-4 情報化社会の構築
7 協働分野 住民が参画するまち	7-1 参画・協働の推進
	7-2 地域コミュニティの育成
	7-3 人権尊重・男女共同参画の推進
	7-4 行政経営の推進

Ⅲ 中期4年の事業評価一覧

基本施策	項目	評価	担当課
【基本目標】 1 環境分野 自然と共生するまち			
1-1 自然環境の保全	1 環境対策の推進	A	生活環境課
		B	防災安全課
1-2 循環型社会の形成	2 自然資源の保全・活用	A	まちづくり課
	1 ごみ処理対策	A	生活環境課
1-3 景観の整備・形成	2 し尿処理対策	A	生活環境課
	1 景観の保全	B	企画商工課
	2 景観の創生	B	企画商工課(再掲)
	【基本目標】 2 産業分野 活力が向上するまち		
2-1 農林水産業の振興	1 農業の充実・強化	C	農林水産課
	2 戦略的な農業の展開	A	企画商工課
		C	農林水産課
	3 林業ゾーンの形成	B	農林水産課
4 水産業の充実・強化	B	農林水産課	
2-2 商工業・サービス業の振興	1 商工業経営の強化	B	企画商工課
	2 起業・企業誘致の推進	C	企画商工課
2-3 観光の振興	1 既存資源の活用	B	企画商工課
	2 新しい玄海町の魅力開発	B	企画商工課
【基本目標】 3 教育分野 次代を育成するまち			
3-1 子育て支援の充実	1 子どもの健全育成	B	教育課
	2 子育て支援の充実	B	保育所
3-2 学校教育の充実	1 就学前教育の充実	-	-
	2 義務教育の充実	B	教育課
	3 特別支援教育の充実	A	教育課
3-3 生涯学習・スポーツ・文化活動の推進	1 生涯学習の充実	B	教育課
	2 スポーツ活動の充実	B	教育課
	3 文化活動の充実	B	教育課(再掲)

基本施策	項目	評価	担当課
【基本目標】 4 健康分野 福祉が充実するまち			
4-1 住民の健康づくりの推進	1 健康づくりの充実	B	健康福祉課
	2 母子保健の充実	B	健康福祉課
	3 成人保健の充実	B	健康福祉課
	4 医療体制の充実	B	健康福祉課
4-2 地域福祉・社会保障の充実	1 地域福祉体制の充実	C	健康福祉課
	2 ボランティア活動の促進	C	健康福祉課(再掲)
4-3 高齢者福祉の充実	1 生きがいづくりの推進	B	健康福祉課
	2 安心な老後生活	B	健康福祉課
		B	企画商工課
3 介護保険制度の充実	B	健康福祉課	
4-4 障がい者福祉の充実	1 障がい福祉サービスの充実	B	健康福祉課
	2 生活環境の向上	B	健康福祉課(再掲)
	3 社会参加と自立支援	B	健康福祉課(再掲)
【基本目標】 5 安全分野 安心を確保するまち			
5-1 消防・防災対策の充実	1 消防・防災体制の充実	B	防災安全課
		B	まちづくり課
	2 救急体制の確立	B	健康福祉課(再掲)
		B	防災安全課(再掲)
5-2 交通安全・防犯の充実	1 交通安全対策	B	防災安全課
	2 防犯体制の強化	B	防災安全課
		A	まちづくり課
5-3 生活トラブル対策の充実	1 消費者意識の啓発	B	住民課(再掲)
	2 相談体制の充実	B	住民課
【基本目標】 6 快適分野 こちよ生活ができるまち			
6-1 道路・交通網・公園の充実	1 道路交通環境の整備	A	まちづくり課
	2 公共交通の充実	C	防災安全課
	3 憩いの場の充実	B	企画商工課
6-2 こちよ住環境の整備	1 住宅・宅地対策	C	まちづくり課
6-3 上下水道の充実	1 水資源の利用と保全	A	生活環境課
	2 上下水道運営の見直し	B	生活環境課
6-4 情報化社会の構築	1 情報の充実・促進	B	防災安全課(再掲)
	2 通信網の拡充・利活用	B	防災安全課

基本施策	項目	評価	担当課
【基本目標】 7 協働分野 住民が参画するまち			
7-1 参画・協働の推進	1 住民参画の推進	B	全課
	2 情報公開の推進	A	全課
	3 住民団体、ボランティア等の育成・支援	C	全課
	4 交流活動の促進	C	企画商工課
7-2 地域コミュニティの育成	1 地域の活性化支援	C	企画商工課
7-3 人権尊重・男女共同参画の推進	1 誰もが人権を尊重する環境づくり	B	住民課
	2 男女がともに生きる環境づくり	B	企画商工課
7-4 行政経営の推進	1 町の持続的発展の推進	C	全課
	2 柔軟な組織体制の確立	B	防災安全課
		B	企画商工課
	3 広域行政の推進	B	全課
	4 健全財政の確立	B	総務課
	5 行政サービスの向上	C	総務課
B		住民課	

IV 基本施策ごとの検証・評価（◎は重点戦略に位置付けた事業を含む）

I 環境分野 自然と共生するまち

I-1 自然環境の保全

【目指す姿】

玄海国定公園をはじめ、海と丘陵など、豊かな自然環境に恵まれています。
この自然とともに、安心して快適に暮らせる町を目指し、海・山・川などの環境の保全に努めます。

【まちのとりくみ】

項目1 環境対策の推進
○脱炭素社会の実現に向けて、省エネルギーと温室効果ガス削減を推進し、地球温暖化対策に取り組みます。
○自然環境・生活環境・水環境などの保全と公害の防止等に努めます。
項目2 自然資源の保全・活用
○貴重な水資源と森林資源の保全と維持管理を行います。
○環境教育・自然体験学習を推進し、住民の自然環境保全の意識を高めます。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◆廃棄物処理対策経費	<p>ごみの排出量の削減やリサイクルの推進を行ってきた。</p> <p>使用済み乾電池については再処理施設へ引渡し金属等の再資源化を行うことができた。</p> <p>また、ごみの分別を図り減量化を推進し、排出された廃棄物については全量を適切に処理することができた。</p> <p>○乾電池再資源化搬出量 R1_2, 020kg、R2_2, 320kg R3_2, 340kg</p> <p>○廃棄物処理量 R1_1, 471t、R2_1, 474t R3_1, 401t</p>	<p>乾電池の回収量は年々増加し、廃棄物は現状横ばい。資源回収BOXの設置により紙ごみ（段ボール等）の再資源化が促進されゴミ搬入量が減少すると推測している。</p> <p>今後は、分別種類の増加が想定されるため、町民に対しさらに細分化したゴミの分別意識を向上させる。</p>

<p>◆原子力行政の推進</p> <p>◆広報・調査等交付金事業</p> <p>◆脱炭素社会の実現推進対策</p>	<p>原子力にかかる知識の普及と理解の促進を目的として、住民向け施設見学会や職員研修等を実施することができた。</p> <p>○施設見学会 R1_56名、R2_見送り、R3_11名</p> <p>○職員研修等 R1_3名、R2_4名、</p> <p>次世代エネルギーパークあすぴあについては、見て触れて体験しつつ、次世代エネルギーに関するヒントを見つけながらエネルギーに考えを巡らせる施設として運営できた。</p> <p>○来場者数 R1_103,534人 R2_52,175人 R3_66,111人</p> <p>○各種イベント R1_83日9,606人 R2_54日4,042人 R3_80日6,559人</p> <p>○工作教室・体験学習等 R1_69回11,462人 R2_18回2,161人 R3_77回5,742人</p> <p>コロナの影響で各種事業の見送りや縮小せざるを得ない状況であったが、対策を講じながら、出来る限りの取組みを実施することができた。</p>	<p>新型コロナ対策を講じながら新型コロナ感染症拡大前の事業内容や規模を目指す。</p> <p>施設の経年劣化に伴う修繕や次世代エネルギーの変化に合わせた展示物の更新など創意工夫に取り組んでいく。</p>
---	--	--

<p>◆農林地崩壊防止事業</p>	<p>佐賀県農林地崩壊防止事業補助金交付要綱及び同実施要領に基づき、風水害等の自然災害によって崩壊又は崩壊のおそれがある農地及び林地で、人家及び公共施設に危害を及ぼす危険があり緊急に復旧等を要するもののうち、国庫補助の対象にならないものについて、当該復旧等の事業を行い民生の安定を図ることができた。</p> <p>○措置件数 R1_0件、R2_1件、R3_2件</p>	<p>なし</p>
-------------------	--	-----------

1-2 循環型社会の形成

【目指す姿】

資源循環型社会の確立に向け、ごみの排出抑制や資源化率の向上、環境美化等を推進します。
--

【まちのとりくみ】

項目1 ごみ処理対策
○ごみの排出抑制と資源化率の向上を図ります。 ○資源循環型社会の形成に向けて取り組みます。
項目2 し尿処理対策
○衛生的なし尿処理体制の維持・管理を行います。 ○畜産の家畜ふん尿処理対策に取り組みます。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
ごみの資源化対策	<p>下記の事業を実施したことにより、ごみの再資源化に取り組み、ごみの減量化を図ることができた。</p> <p>○資源物回収事業 R1_19.8t 129,144円 R2_18.1t 117,240円 R3_14.1t 88,764円</p> <p>○生ごみ処理機購入補助事業 R1_2件 32,500円 R2_0件 0円 R3_1件 17,800円</p> <p>○ペットボトル処理経費 R1_12.6t R2_12.3t R3_13.1t</p>	<p>資源物回収団体3団体のうち玄海町地域婦人会が解散したため資源物回収量が減少する見込み。一方、新たに紙ごみの回収BOXを設置したことにより、紙ごみの資源物回収を補完できる。</p> <p>また、町民に再資源化や分別の方法をさらに周知し、意識向上を図る。</p>
し尿処理対策	<p>し尿全量を適切に処理することで環境保全を行っており、処理を委託している唐津市北部衛生処理センターに対し、その運転に必要な費用を負担し、適切に処理することができた。</p>	<p>唐津市では北部衛生処理センターと中部衛生処理センターを運用している。両施設とも老朽化が進行し、統廃合も検討されている。</p> <p>また、下水道処理場においてし尿の直接投入の実証実験が行われ、今後処理の方法が大幅に変更となる可能性が</p>

	○し尿処理 R1_2, 816.3kL R2_3, 287.9kL R3_3, 353.3kL	あるため、唐津市の動向に注視しながら維持・管理を行う。
--	--	-----------------------------

1-3 景観の整備・形成

【目指す姿】

棚田や夕景などの美しい景観を受け継いできました。

これら町特有の景観の保全や新たな景観の再発見に努め、自然とふれあえる町の景観形成に努めます。

【まちのとりくみ】

項目1 景観の保全
○町特有の貴重な景観の保全に取り組みます。
項目2 景観の創生
○後世に残したい景観の再発見に努めます。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◎浜野浦の棚田保全対策	<p>玄海町浜野浦の棚田条例に基づき、集団的に形成した石積棚田における生産基盤の整備、水稻等の農作物の栽培の奨励等による保全又は保存を行うため、棚田保全事業について、速やかに事務処理を行うことができ維持保全を図った。</p> <p>○浜野浦の棚田保全事業 R1_8件、R2_5件、R3_8件</p>	<p>棚田の保全は今後も継続的に行う必要があり、それに伴う支援についても引き続き行う。</p>

2 産業分野 活力が向上するまち

2-1 農林水産業の振興

【目指す姿】

農水産業は町の主要産業であり、佐賀牛や鯛をはじめ、豊富な農水産物があります。主要産業の担い手となる人材を育て、経営基盤を強化して、安定的な農水産業経営を確立するとともに、森林の保全を図ります。

【まちのとりくみ】

項目1 農業の充実・強化
○優良農地の保全と農業地域の景観の維持に取り組みます。 ○町の農業を支える認定農業者や新たな担い手の育成を支援します。
項目2 戦略的な農業の展開
○生産性や特産品開発の技術面の向上を支援します。 ○安全安心で健康的な食生活の実現を目指し、地産地消を進めます。
項目3 林業ゾーンの形成
○特性に応じて森林の保全と活用を図ります。
項目4 水産業の充実・強化
○計画的な漁業環境の整備と担い手の育成を進めます。
項目5 戦略的な水産業の展開
○付加価値を高め、販路を拡大する取組を支援します。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◆農業振興事業 ◆中山間地域等直接支払交付金事業 ◆有害鳥獣広域駆除対策事業 ◆担い手育成対策事業 ◆農業振興地域整備事業 ◆多面的機能支払交付金事業 ◆農業次世代人材投資事業 ◆農業経営収入保険加入推進事業	<p>担い手の確保のため、新規就農者の獲得に向けた施策の展開として、町内在住の新規就農者、規模拡大者、相談者を確保することができた。</p> <p>また、県や農協と連携により、唐津版アグ・トレ(農業体験から研修まで支援)を実施することができた。</p> <p>農協を中心に子牛の生産体制、肥育体制の充実が図られており、本町も支援することができた。</p> <p>○就農フェア等相談、募集 新規就農1名、規模拡大1名、</p>	<p>新規就農者の獲得は他市町村も力を入れている。まちの魅力発信や効果的な支援を分かりやすく示すことで差別化を図ることが必要だが、玄海町を選ぼうえでの情報の質、見せ方等が課題。情報発信や他施策など全庁的に連携し、取り組むことも必要。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ◆諸浦浜の田水路補修 ◆畜産振興対策事業 ◆受精卵移植事業 ◆町単独農道等整備事業 ◆農業用施設整備事業 ◆農地の適正な維持管理 ◆上場地域農業開発事業 ◆国営造成施設管理体制整備促進事業 ◆佐賀県土地改良事業総合償還対策事業 ◆地域農業水利施設事業 ◆土地改良施設維持管理適正化事業 ◆薬用植物栽培研究所運営事業 		
<ul style="list-style-type: none"> ◆森林環境整備事業 ◆農業者への支援 ◆農地利用の集積・集約化、遊休農地の解消 	<p>森林環境譲与税を活用し、森林計画の策定、森林調査・間伐等を実施することができた。</p> <p>研修生を確保するため、体験研修の実施を制度化することができた。</p> <p>農地利用の集約化を図るため、地区ごとに今後の農地利用のあり方について人・農地プランを作成することができた。</p>	<p>農業の担い手が減少する中、農業者の支援、農地の集積・集約化が欠かせず、併せてリーダーの育成・支援に取り組むことが必要。</p>
<p>◎玄海町の魅力を活かした地域振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆経営基盤強化事業 	<p>ふるさと応援寄附金事業を通して寄附を集め、毎年度寄附額が向上し本町の魅力向上・PRをすることができた。</p>	<p>ふるさと応援寄附金事業では引き続き本町のPR及び産業の振興に寄与するため、事業者支援を行う。</p>

	<p>また、市場のトレンドやニーズを把握し、生産者にあった方法での返礼品開発・販路開拓の支援を行うことができた。</p> <p>玄海町元気 1・2・3 産業振興資金事業において商工業者の借入金の利子を補給することにより融資に対する不安を減らし、経営の安定に寄与し、商工業者の経営の安定化・負担の軽減を行うことができた。</p> <p>○寄附金 R1_49,799 件 1,196,065 千円 R2_85,492 件 1,658,778 千円 R3_100,288 件 1,859,523 千円</p> <p>○1・2・3 補助 R1_27 件 1,949,458 円 R2_67 件 1,850,212 円 R3_50 件 1,583,629 円</p>	<p>また、経営基盤強化事業として株式会社日本政策金融公庫資金等利子補給事業を廃止。玄海町元気 1・2・3 産業振興資金事業を拡大、事業を一本化し、より商工業者がわかりやすく利用促進が図られる事業へ改正する。</p>
<p>◆さが園芸生産 8 8 8 億円推進事業 ◆ジャパンコスメティックセンター事業</p>	<p>まちの資源を有効活用し、商品化又は PR を実施するもの。令和 4 年度は週 1 回 JCC 職員が薬草園にて業務に従事。</p>	<p>888 億円推進事業では、既存農家の施設更新などが主であり、新規就農者や規模拡大を目指す農家を増やす取り組みが必要。担い手確保事業とあわせ、事業推進を図る。</p>
<p>◆森林整備事業</p>	<p>森林環境譲与税を活用し、森林調査、間伐等を実施することができた。</p>	<p>森林管理計画に基づき計画的に実施しているが、町では林業に長けた人材が乏しく、町内にも専門業者がいないことは森林整備の課題。</p> <p>また、商業的価値のある森林が少ないが、間伐後の有効活用策を検討し、森林の適切な管理に努めていく。</p>

<p>◎漁業経営安定対策事業</p> <p>◆漁業環境維持改善対策</p> <p>◆餌料用冷凍冷蔵庫解体事業</p>	<p>漁業経営の安定を図るため、漁協や漁業者に対して補助するとともに、令和3年度から新規就漁者の経営面をサポートするため、担い手育成支援事業を創設することができた。</p> <p>また、漁場の環境維持・改善対策を継続して実施することができた。</p> <p>○担い手育成支援事業</p> <p>R3_1人</p>	<p>新規就漁者の獲得は、他市町も力を入れており、まちの魅力発信や効果的な支援策を分かりやすく示すことで差別化を図ることが必要だが、玄海町を選ぶうえでの情報の質、見せ方等が課題。移住・定住の促進と併せ、全庁的に連携し、取り組むことが必要。</p>
--	--	---

2-2 商工業・サービス業の振興

【目指す姿】

魅力ある産業環境づくりにより、商工業の活性化を図るとともに、雇用の場の確保に向け、町の特性を活かすことができる企業誘致を進めます。

【まちのとりくみ】

項目1 商工業経営の強化
○企業の新商品開発や新分野・新市場進出を支援します。 ○既存の地域企業の高度化と経営基盤の強化を促進します。
項目2 起業・企業誘致の推進
○起業の意向を持つ人材を育て、支援するとともに、人材のネットワーク化を推進します。 ○農水産業をはじめとする既存産業と連携できる企業の誘致を促進します。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
<p>◆経営基盤強化事業 ◆経営支援安定対策 ◆中小企業勤労者支援事業</p>	<p>唐津上場商工会の補助や中小企業勤労者福祉サービスセンターの負担金交付により、町内事業者の経営指導や支援、福利厚生を充実し、活力の維持・向上を図るとともに地域経済を活性化させることができた。</p> <p>また、各種補助金事業により融資に対する負担軽減・円滑化を図り、販路開拓の促進を行うことで経営の安定化・経営力の向上に資することができた。</p>	<p>展示会等出展支援事業は、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインで実施される展示会等が増え、事業活用が減少している。事業者が利用しやすい制度内容に見直しを図る。</p>
<p>◆企業誘致対策事業</p>	<p>町内の雇用機会の拡大と産業の振興を図るため、玄海町産業立地促進条例に基づく指定を行った進出企業に対し、雇用促進奨励金・企業立地奨励金を交付、雇用機会の創出に寄与することはできたが、起業意向を持つ人材の育成・支援については、取り組むことができなかった。</p>	<p>雇用の創出、移住・定住の促進を図るため、企業支援の見直しや起業者支援に係る取り組みを検討する。</p>

	<p>○指定企業 R1_1 社</p> <p>○奨励金交付 R2_雇用促進 1,500 千円 R3_企業立地 387 千円</p>	
--	---	--

2-3 観光の振興

【目指す姿】

中学生の修学旅行など、着地型旅行（ATA）の受け入れを実施しています。
 今後も交流人口の増加と地域活性化に向け、多様化、高度化する観光・レクリエーションニーズに即した多面的な取組を進めます。

【まちのとりくみ】

項目1 既存資源の活用
○自然や農林水産業の体験型や滞在型、住民との交流など、地域資源を生かした新しい観光の形を創出します。
項目2 新しい玄海町の魅力開発
○町に眠る素材の発見（再認識）と新しい良さの創出（開発）を目指します。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
<p>◆滞在・体験型交流推進事業</p> <p>◎観光宣伝事業</p>	<p>NPO 法人唐津・玄海観光交流社に対し補助することで、民泊の受け入れを推進し、地域資源を生かした取り組みを行うことができた。</p> <p>玄海町の観光PRを行うために、無料・有料観光雑誌へ掲載しPRすることができた。</p> <p>○掲載数 R1_18件、R2_19件 R3_14件</p>	<p>既存の地域資源を生かし、更なる関係人口の増加を図るため、継続して雑誌やSNSへ掲載を行うとともに観光資源の維持・開発に取り組んでいく。</p>
<p>◎新しい玄海町の魅力開発事業</p> <p>◆玄海町の魅力を活かした地域振興</p> <p>◎自然や景観を活かした観光振興</p>	<p>令和2年2月に（一社）玄海町みんなの地域商社を設立。ふるさと応援寄附金事業や地域ブランディング業務を委託。ふるさと納税制度を起点とした町や町の特産品の魅力を伝え、新たな商品開発や販路拡大、さらには観光客や関係人口の増加など、外貨獲得に向けた様々な活動を包括的に取り組むことができた。</p>	<p>浜野浦の棚田をメインとした地域ブランディングに注力し、PR活動を継続して取り組んでいく。</p>

3 教育分野 次代を育成するまち

3-1 子育て支援の充実

【目指す姿】

親学講座や乳児全戸訪問、教育支援センターでの相談など、細やかな支援を行ってきました。これからも地域での子育て支援など、安心して子どもを生き育てられる環境づくりを進めます。

【まちのとりくみ】

項目1 子どもの健全育成
○関係機関と連携し、子育てに関する相談と支援の充実を図ります。 ○地域ぐるみで子育てを支える体制の整備を促進します。
項目2 子育て支援の充実
○保育の質と量を拡充するとともに総合的・計画的な子育て支援を推進します。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
<p>◆教育支援センター事業</p> <p>◆就学支援事業</p> <p>◎学校給食一般経費事業</p>	<p>教育支援センター事業では、週1~2件の教育相談、適応指導教室入級4名を受け入れ、町民の教育的サポートを実現した。</p> <p>就学支援事業では、奨学金の貸付、要保護・準要保護児童就学援助、特別支援教育就学奨励により就学援助を行った。</p> <p>学校給食は自校式で行っており、玄海町産の食材を使用した給食の提供、食に関する知識醸成により食育推進を図った。</p> <p>また、学校給食費は、令和元年度から無償化を行った。</p> <p>○奨学金貸付 R4_36名 24,720千円</p> <p>○要保護・準要保護児童就学援助 R3_47名 3,609千円</p> <p>○特別支援教育就学奨励 R3_19名 881千円</p>	<p>教育支援センター事業での地域人材の積極的な活動支援が必要</p> <p>学校給食については物価高騰による賄材料費の上昇が懸念されるため学校給食費の増額も検討する。</p>

<p>◆総合的・計画的な子育て支援の推進</p>	<p>親育ち、子育ての支援を目的に子育て中の保護者を対象に講座を開催することができた。</p> <p>○講座 R1_5回 R2_0回 R3_1回</p>	<p>親学という名称に保護者が犬猿しがちであるため、令和4年度から「子育てクラブ」に改称。親子レクレーションや参加型の講演などを開催し、家庭教育の推進・啓発を行う。</p>
<p>◆子育てを支える体制の整備</p>	<p>保護者への保育参加を促し子育てに関する講話、相談など支援を行った。</p> <p>様々な保育行事を通して、「地域で子どもを育てる」という意識を持ち、稚魚放流、魚解体ショー、田植え、稲刈りなど地域の方々と共に子育ての充実を図った。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大下における予防対策を行いつつ、保育内容、行事の実施について検討する。</p>

3-2 学校教育の充実

【目指す姿】

「確かな学力」の定着と基本的な学習習慣の育成を図るため、少人数学級等を継続し、子どもたちの豊かな人間力形成を推進します。また、安全で安心な学校づくりを進めます。

【まちのとりくみ】

項目1 就学前教育の充実
○義務教育学校前期課程に円滑に移行できるようにします。
項目2 義務教育の充実
○学力向上や「生きる力」の育成に取り組みます。 ○登下校時や学校内の安全を確保します。 ○心の教育や食育に取り組みます。 ○教育環境の整備に努めます。
項目3 特別支援教育の充実
○障がい児の就学体制を充実します。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◆海洋教育事業 ◎学力向上事業 ◆スクールカウンセラー配置事業 ◆教育委員会経費 ◆教育運営経費 ◆通学支援事業 ◆教育委員会事務局経費 ◆学校施設整備基金経費	<p>玄海みらい学園では1学級を30人以下に設定し、さらに町で学力向上支援講師、少人数講師、学習・生活補助員を配置することにより、個々に合わせた指導を行い、生徒児童の学力向上が図られた。</p> <p>学力は学年や教科によっては県平均を上回る結果も出ており、他の施策と併せた事業成果につながっている。</p> <p>生徒児童の通学にはスクールバスを運行し、安全な登下校を確保し、自転車通学を行う生徒児童には自転車購入補助により保護者の負担軽減を図った。</p> <p>○雇用数 学力向上支援講師6名 少人数講師6名 学習・生活補助員8名</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により縮小していた海洋教育や国際交流など、学力だけではなく、ふるさと教育や国際理解等の課外教育についても注力する。</p>

<p>◆適正就学事業</p>	<p>玄海みらい学園では全体の約15%の生徒児童が特別支援学級又は通級指導教室に入級し、担任や特別支援コーディネーター、学習・生活補助員が連携して対応することで、不登校の減少につながった。</p> <p>適正就学委員会を年間2回、就学相談会を年間3回開催し、医師や臨床心理士を交えた協議を行うことにより、担任や保護者の就学上の不安解消を図った。</p>	<p>障がいのある生徒児童も含めた学級全体に対する指導の在り方を検討する。</p>
----------------	--	---

3-3 生涯学習・スポーツ・文化活動の推進

【目指す姿】

自ら学ぶ生涯学習の充実とライフステージに応じたスポーツ活動を行える環境づくりを推進します。また、芸術・文化活動の振興や文化財の保存・活用、地域特有の民俗文化の伝承を進めます。

【まちのとりくみ】

項目1 生涯学習の充実
○地域に根ざした社会教育活動等の促進を図ります。
項目2 スポーツ活動の充実
○一人一人の健康増進と体力の向上を図ります。
項目3 文化活動の充実
○芸術・文化活動に関する取組を推進します。
○伝統文化や文化財保護への意識を高めます。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◆青少年健全育成 ◎公営学習塾事業 ◆公民館運営経費 ◆コミュニティセンター維持管理経費 ◆コミュニティセンター運営経費 ◆施設維持管理経費 ◆社会教育運営経費 ◎玄海町立図書館等複合施設整備事業 ◎図書事業 ◆二十歳のつどい事業 ◆生涯学習事業 ◆町民会館維持管理経費 ◆町民会館運営経費 ◎文化公演事業 ◆文化財保護経費	地域に根差した社会教育活動等の促進を図るために、町民会館等公民館施設、社会体育館や野球場などの体育施設、コミュニティセンターや図書館等が住民に不自由なく利用いただける環境を提供。 また、寿教室、玄海っ子教室、二十歳のつどい（旧成人式）、文化講演会といった乳幼児から高齢者まで幅広い年代に生涯教育活動を開催することができた。	今後も地域根差した生涯教育活動を行いつつ、建設から30年以上経過した施設の老朽化が懸念され、建物の維持管理や集約等について町民の利便性を確保しつつ、公共施設の統廃合について検討を行う。
◎サガン鳥栖連携事業 ◆少年スポーツ交流事業	令和2年10月にスポーツを通じた青少年の健全育成や生涯学習活動の促進ならびに地域振興を図るためサガン鳥栖	サガン鳥栖連携事業を踏まえ、社会体育の盛り上げ方法や様々なスポーツ種目との連携方法など検討していく。

<p>◆第 78 回国民スポーツ大会事業</p> <p>◆保健体育運営経費</p>	<p>と交流宣言を調印。</p> <p>令和 3 年度はサガン鳥栖連携事業として玄海みらい学園の生徒に「さがん夢先生」の授業を実施。プロ選手の実体験を通した話を聞くことで子どもたちの成長の一端を担うことができた。</p> <p>少年スポーツ交流事業では、心身の健全育成と選手及び指導者の交流を図る目的や全国大会に出場する場合の旅費について経費の一部に補助することができた。</p> <p>第 78 回国民スポーツ大会や今後の施設利用に向けて社会体育館の音響設備や空調設備の設置、ゲートボール場(多目的施設)の屋根の設置、トイレの洋式化行った。</p>	<p>少年スポーツ交流事業は、スポーツの全国大会にのみ補助を実施しているため補助対象を文科系部活動に広げたり、玄海町スポーツ協会の補助金と整合性を図る必要がある。</p>
---	---	---

4 健康分野 福祉が充実するまち

4-1 住民の健康づくりの推進

【目指す姿】

各種検診や健康相談などを通して、健康への意識を高めるとともに、地域・行政・医療機関等の連携体制を整え、健康日本一のまちを目指します。

【まちのとりくみ】

項目1 健康づくりの充実
○健康づくりを総合的・計画的に進めます。 ○心の健康づくりに努めます。
項目2 母子保健の充実
○相談・支援体制の充実を図ります。
項目3 成人保健の充実
○生活習慣病予防、重症化予防を推進します。 ○在宅で暮らす疾病や障がいのある方への支援を行います。
項目4 医療体制の充実
○救急医療体制の整備・充実を図り、質の高い地域医療を確保します。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◆健康増進対策	<p>各種がん検診、結核検診、予防接種等を実施することで、疾病の早期発見、早期治療につなげることができた。</p> <p>自殺予防対策事業として、こころの健康相談会を実施、さらに町立図書館において『こころの図書館』を実施することで幅広く自殺予防について普及啓発ができた。</p> <p>また、ゲートキーパー研修会を開催し、自殺予防対策の意識づけができた。</p>	<p>個別受診の機会が無いがん検診項目があること、各種がん検診受診率の伸び悩んでいることから、実施方法や周知方法を検討する。</p>
◎健康増進対策	<p>玄海町子育て世代包括支援センター事業を平成31年4月から実施。妊娠・出産・子育てに関する各種相談に応じ、地域の保健医療又は福祉等の関係機関との連絡調整を図るこ</p>	<p>母子手帳アプリの登録数が伸び悩んでいるため、母子手帳発行時、出生届時などに周知し、登録者増加に努め、母子への情報提供を充実させることにより安心した子育て環境</p>

	<p>とができた。</p> <p>また、母子手帳アプリを導入し、妊娠期や子育て期の記録の管理や町からの子育てに関する情報を提供することができた。</p>	<p>の確保に取り組む。</p>
◆健康を維持するための安定した事業運営	<p>健康診査の結果を受け、保健指導該当者及び重症化予防対象者に対して管理栄養士、保健師等が対象者に応じた個別の保健指導を実施。さらに、令和4年度から後期高齢者を対象とした重症化予防、フレイル予防を実施し、健康増進に努めた。</p>	<p>まずは自分の健康状態を把握するため多くの住民に健康診査を受診してもらうような取り組みを検討する。</p> <p>また、健康診査やがん検診の未受診の理由を把握する仕組みを検討する。</p>
◆健康増進対策	<p>令和3年度に看護師等養成所運営費、唐津赤十字病院医療機器整備費及び唐津東松浦地域在宅歯科医療連携に係る補助を行い、住民に対する質の高い地域医療を確保することができた。</p>	<p>将来、無医地区になる可能性もあるため、唐松地域共生協議会医療分科会において課題、検討事項を整理し、佐賀県、唐津市、医師会等の意見を踏まえ、巡回診療体制の構築を検討する。</p>

4-2 地域福祉・社会保障の充実

【目指す姿】

住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、相談体制の強化などに取り組んできました。
これからも支援を必要としている人を地域で見守り、地域による福祉の向上に努めます。

【まちのとりくみ】

項目1 地域福祉体制の充実

- 助け合いの心を養い、ともに生きるまちづくりを推進します。
- 地域の交流やつながりの充実を図ります。
- 要配慮者・避難行動要支援者の避難体制の充実を図ります。

項目2 ボランティア活動の促進

- ボランティア意識を高めます。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◆地域共生促進事業	<p>避難が必要な時に支援を必要とする方の同意に基づき、避難行動要支援者の名簿を作成。支援者と情報を共有し、万が一の体制づくりを行った。</p> <p>○避難行動要支援者・同意者</p> <p>R1_695人・265人</p> <p>R2_791人・291人</p> <p>R3_823人・278人</p>	<p>個々の支援を行う個別計画をより実行性のあるものとして活用していく。</p>

4-3 高齢者福祉の充実

【目指す姿】

住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、社会参加や在宅生活について、ともに支え合う地域づくりの推進に努め、福祉施設の充実などに取り組んでいきます。

【まちのとりくみ】

項目1 生きがいつくりの推進
○高齢者の活動を支援します。
項目2 安心な老後生活
○高齢者が暮らしやすい環境を整備します。 ○地域に根ざした福祉施設の充実を図ります。
項目3 介護保険制度の充実
○「玄海町介護保険事業計画」に基づき、介護サービスの充実を促進します。 ○自分らしい暮らしを最後まで続けることができる体制を整備します。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
<p>◆高齢者地域活動推進事業</p> <p>◆包括的支援事業等総務費</p> <p>◆介護予防サービス費計画書作成事業</p>	<p>福祉施設内に高齢者向け住宅を整備し、高齢者の居住を提供し、もってその福祉を増進させることができた。</p> <p>○入居数 R1_10人/10戸 R2_10人/10戸 R3_9人/10戸</p>	<p>現在、高齢者住宅が定員に達している。今後さらに高齢者需要が高まる可能性があるのか調査・対応策を検討する。</p>
<p>◆高齢者福祉推進事業</p> <p>◎高齢者の健康維持と経済的負担軽減対策</p>	<p>町内の高齢者(4月1日現在で満65歳以上の人)、障害者及びその介助者に対して、玄海海上温泉パレアの入浴料を補助することにより、老人福祉及び障害者福祉の向上を図ることができた。</p> <p>早期受診、早期治療及び経済的負担の軽減を目的に後期高齢者の医療費を助成することができた。</p> <p>○使用数 R1_6,684枚、R2_5,097枚 R3_5,323枚</p>	<p>継続した補助を行う。</p>

	○医療費助成 R3_633人(78%) 10,248,500円	
◆玄海海上温泉パレ ア運営計画	随時の修繕や個別施設計画 に基づく改修工事を適時行 い、利用者が快適に施設を利 用できる環境を維持し、充実 した福祉施設を提供すること ができた。 ○修繕・工事 R1_修繕15件、工事4件 R2_修繕7件、工事3件 R3_修繕25件、工事6件	高齢の利用者が多いため、 施設を安全かつ快適に利用で きるよう、きめ細やかな環境 整備を行う。
◆介護保険制度の充 実 ◆介護保険料賦課徴 収事務の適正な実施 ◆要介護認定事務の 適正な実施 ◆介護サービスの充 実 ◆介護予防サービスの 充実 ◆高額介護（予防）サ ービスの充実 ◆特定入所者介護（予 防）サービスの充実 ◆介護予防・生活支援 サービスの充実 ◆介護予防ケアマネ ジメント事業 ◆一般介護予防事業 ◆認知症地域支援・ケ ア向上事業 ◆任意事業の充実	介護保険制度、玄海町介護 事業計画に基づき、賦課徴収 事務、認定業務の適正な実施、 介護サービスの充実を図ること ができた。 介護予防事業に力を入れ、 住民主体の通いの場（いきい き100歳体操）に対する支援 を行い、現在12カ所で行われ ている。 また、通いの場参加者、ボラ ンティア活動者に、令和3年 度よりポイント制度を実施 （年間最大5,000円の商品券 と交換）し、参加者の介護予防 と社会参加を促進できてい る。	制度として定着し、適切に 運用されているように見える 介護保険制度だが、保険給付 の費用が増え続けると、合わ せて介護保険料を上げなけれ ばならない。 制度の持続性を高めるため に介護「予防」に係る取組の強 化・充実を図る。

4-4 障がい者福祉の充実

【目指す姿】

基本的人権が尊重された生活ができるよう、福祉サービスの充実を図るとともに、地域住民による支え合いを強めます。

【まちのとりくみ】

項目1 障がい福祉サービスの充実
○総合的かつ効率的な障がい福祉サービスの充実を図ります。
項目2 生活環境の向上
○障がい者が安心できる生活環境を整備します。
項目3 社会参加と自立支援
○社会活動の支援や雇用の場の確保に努めます。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◆障害福祉サービス事業	<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、町内の障がい者（児）が地域において安心して生活ができるように、障がい福祉サービスに係る利用料の助成を行うことで、障がい者（児）及びその家族の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○利用料助成 R1_140,583 千円 R2_152,526 千円 R3_156,642 千円</p>	<p>本町には重度の身体・知的障がい者（児）が入所できる障がい者支援施設（以下「施設」という。）がないため、やむなく町外の施設に入所している状況である。障がい者（児）が生まれ育ったこの町で安心して生活するためには、施設の誘致が必要。</p>

5 安全分野 安心を確保するまち

5-1 消防・防災対策の充実

【目指す姿】

安心して暮らせる総合的な防災対策を推進し、消防署と消防団・自主防災組織の連携に努め、危機管理意識を高めます。

【まちのとりくみ】

項目1 消防・防災体制の充実
○適切な消防・防災体制の整備を図ります。 ○各種施設や地域の防災力強化に取り組みます。
項目2 救急体制の確立
○効率的で効果的な救急体制の強化に努めます。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
<p>◆地域防災力向上対策</p> <p>◎地域防災対策事業</p> <p>◆消防・防災体制維持に係る経費</p>	<p>従来から実施してきた自主防災組織の活動支援や原子力防災訓練に加え、消防団・自主防災組織と連携し、令和3年度から主に水害を想定した玄海町主催の防災訓練を実施している。</p>	<p>個々人や関係機関等の防災レベルの向上は、防災対策の理解や機関間の連携強化など習熟に時間を要するものが多い。今後も防災訓練を行うなど継続して取り組みを行う。</p> <p>加えて、防災対策の充実を図るために防災資機材や施設の充実化などハード面の対策を実施する。</p>
<p>◆危険な空き家等への対策</p>	<p>倒壊などの危険がある等の要件に該当する空き家について、玄海町空き家等対策協議会にて特定空き家の認定を行い、空き家解体に対する補助制度を利用するなどして特定空き家の解消に努めている。</p> <p>○空き家等除却補助金 R3_3件</p>	<p>引き続き、特定空き家に該当する物件がある場合は、認定を行い解消に努める。</p>

5-2 交通安全・防犯の充実

【目指す姿】

交通指導関係や防犯推進関係団体と連携して交通安全・地域防犯体制の充実を図り、安全で事故や犯罪のない環境づくりを推進します。

【まちのとりくみ】

項目1 交通安全対策

- 交通安全にともに取り組む体制づくりを進めます。
- 道路の安全対策を図ります。

項目2 防犯体制の強化

- 安心・安全なまちづくりに協働で取り組みます。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◎地域の交通安全対策	<p>交通安全の確保及び交通事故抑止のため、交通指導員や交通安全協会による各種交通安全の啓発活動を毎年実施。</p> <p>また、高齢者の運転による交通事故抑止の取り組みとして、「高齢者運転免許証自主返納支援事業」を新たに開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通指導員 街頭キャンペーン、交通教室、交通整理、立哨活動 ○交通安全協会 運転免許取得者講習会、特別会員講習会 ○高齢者運転免許証自主返納支援事業 <p>R2_78人 R3_103人</p>	<p>唐津警察署管内において飲酒がらみの事故や検挙が他の地域に比べ多いため、飲酒運転撲滅のための取組みを強化する。</p>

<p>◎防犯対策事業 ◆安全安心まちづくり推進対策</p>	<p>年4回(春季・花火大会・秋季・冬季)の防犯パトロールを計画通り実施し、町内の見守りや防犯意識の向上に努めた。</p> <p>また、玄海町防犯灯設置事業及び維持管理に関する要綱及び玄海町主要道路(国、県道)防犯灯整備計画に基づき、町内における夜間の犯罪及び交通事故の防止を計り、併せてあかるいまちづくりを推進するため、防犯灯の設置及び維持管理を行った。</p> <p>○個別防犯灯 R1_5件、R2_30件、R3_286件</p> <p>○県道加倉仮屋港線防犯灯 R1_17基、R2_16基、R3_11基</p> <p>○町道外津値賀川内線防犯灯 R3_21基</p> <p>○町道普恩寺小加倉線防犯灯 R3_13基</p> <p>地域の要望に基づいた防犯灯の設置や、既設防犯灯の適切な維持管理を行い、夜間における町内の安全・安心なまちづくりに寄与している。</p>	<p>他課にて従事している防犯関係の職員や町内の防犯推進を行っている委員との連携を行い、より効率的で効果的なパトロールに取り組む。</p>
-----------------------------------	---	---

5-3 生活トラブル対策の充実

【目指す姿】

消費者保護に関する啓発等を行うとともに、被害の未然防止に努め、細やかな相談や情報提供を行います。

【まちのとりくみ】

項目1 消費者意識の啓発

○消費者被害防止のための啓発活動を実施します。

項目2 相談体制の充実

○消費生活に関することはもとより、様々な相談に対応できる体制を整備します。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◆相談体制の充実	<p>日常生活上の悩みや相談事について助言を行う心配ごと相談窓口を実施した。</p> <p>振り込め詐欺、悪質訪問販売などの消費生活問題について、「消費生活相談の会さが」と連携し、消費生活相談窓口の設置や啓発活動を行った。</p> <p>○心配ごと相談 R1_14件、R2_18件 R3_11件</p> <p>○消費生活相談 R1_21件、R2_26件 R3_25件</p>	<p>相談窓口の設置は今後も継続して行うが、消費生活問題の発生を防ぐための予防啓発活動を優先的に取り組む。</p>

6 快適分野 ここちよい生活ができるまち

6-1 道路・交通網・公園の充実

【目指す姿】

道路については、整備の推進や歩道、街灯の設置などに取り組んできました。
町内道路網の計画的な整備を行うとともに、安全で快適な道路環境づくりを進めます。また、公共交通機能の向上や身近な公園・緑地の整備・活用等を図ります。

【まちのとりくみ】

項目1 道路交通環境の整備

○安全で快適な道路環境の強化を図ります。

項目2 公共交通の充実

○交通弱者が利用しやすい持続可能な移動手段の確保に努めます。

項目3 憩いの場の充実

○公園等を活用し、憩いの場を創出します。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
<p>◆土木管理対策</p> <p>◆道路対策</p>	<p>町道施設の計画的な維持補修を行い、応急対応も適宜行った。</p> <p>R1_157,699千円 R2_65,006千円 R3_73,685千円</p> <p>幅員の狭い町道を拡幅することにより、安全で快適な道路環境の強化に取り組むことができた。</p> <p>R1_155,730千円 R2_51,866千円 R3_99,168千円</p>	<p>工事発注件数及び規模が増加傾向にあり、今後は維持及び補修業務に従事する担い手（職員）育成が必要。</p>
<p>◆公共交通の維持・補完</p>	<p>公共交通の維持として路線バス運行への補助、地域内公共交通の充実としてコミュニティバスの運行を実施できた。</p> <p>なお、利便性向上のためコミュニティバスの運行形態の変更を実施したが、路線バス及びコミュニティバスともコロナ禍での移動の自粛に伴い</p>	<p>路線バスの維持並びに補助金縮減には利用者拡大や運行見直しが必要。抜本的な取り組みは難しい状況であるため、コミュニティバスはデマンド交通の検討を進める。</p>

	<p>利用者が減少した。</p> <p>○補助対象路線バス利用者数 及び補助額※唐津利用含む R1_164,133人 11,471千円 R2_142,482人 14,326千円 R3_157,042人 15,619千円</p> <p>○コミュニティバス利用者数 R1_5,576人、R2_5,001人 R3_5,681人</p>	
◆公園維持管理事業	<p>公園の景観を維持するため、毎年度清掃や除草、緑化維持のほか随時附帯設備であるトイレや電灯の修繕等も行った。</p> <p>しかし、公園施設を活用した景観づくりや観光促進に資する取組等は、特に行うことができなかった。</p>	<p>適切な維持・管理を継続して行うとともに、各公園施設の魅力や利便性を向上させる取組みを検討する。</p>

6-2 ここちよい住環境の整備

【目指す姿】

快適な生活環境と安全な住環境の実現に向けて、住宅地等の整備を促進します。

【まちのとりくみ】

項目1 住宅・宅地対策

○快適な住環境を整備します。

○充実したサポートで住環境の支援を行います。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◎移住・定住促進事業 ◆住宅管理経費 ◆耐震改修事業	<p>宅地整備のための用地選定を進め候補地の測量等を行ったが、候補地の再検討などもあり進捗していない。</p> <p>また、地震等による倒壊を防ぐため危険なブロック塀等の撤去費の補助や大規模に盛土を施工した造成地における活動崩落予防対策として盛土の変動予測調査を行った。</p> <p>町内での住宅の新築や中古住宅の購入に補助金を交付。令和2年度からは空き家バンク制度を導入し、登録物件に対する補助金を交付している。</p> <p>○玄海町ブロック塀等撤去費補助金 R2～ 2件</p> <p>○定住促進奨励金 R1～ 29件</p> <p>○空き家バンクリフォーム補助金 R2～ 27件</p>	<p>住宅地整備に向けて候補地の選定を進めつつ、官民それぞれの多角的な方策を検討する。</p> <p>移住・定住促進事業は、引き続き補助事業を継続しつつより利用しやすい制度になるよう内容の検討を進める。</p>

6-3 上下水道の充実

【目指す姿】

上水道設備の維持や下水道の整備を行ってきました。
これからも、良質な水を安定供給し、快適な水環境を確保します。

【まちのとりくみ】

項目1 水資源の利用と保全

○良質で十分な水源を確保・維持します。

項目2 上下水道運営の見直し

○町の規模にあった安定的な経営を図ります。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◆水道運営事業	<p>河川から取水し浄水を行い安全な水道水として供給した。</p> <p>一方、家庭等で使用した汚水を下水道や農集排及び合併処理浄化槽により浄化し、処理水を河川等に放流することで水循環のサイクルを維持し、豊かな自然環境の保全に寄与できた。</p>	<p>水道施設及び下水道施設等については、経年劣化に対応して適切な維持管理を行う。</p>
◆一般管理経費 ◆特定環境保全公共下水道事業 ◆農業集落排水事業 ◆合併処理浄化槽設置整備事業 ◆上水道事業	<p>予防措置として機器の更新など計画的に進めることができた。</p> <p>ただし、下水道使用料のみで更新工事等を賄うことができないため、一般会計からの繰出金で下水道会計を賄わざるを得ない。</p> <p>水道事業では良質な水道水の提供を行ったが、水道企業会計の経営を改善するに至らなかった。</p>	<p>下水道事業は公営企業会計へ移行し、よりシビアな経営が求められるため、使用料を見直し安定経営に資する。使用料見直しの際の軽減措置により料金収入が減少するため、一般会計からの繰出金に依存する。</p> <p>上水道事業は一般会計からの繰出金に依存する状況は継続する見込みであるため、施設の集約化に取り組み、社会経済及び社会活動の状況を考慮しながら、水道料金の見直しを検討し、健全経営を目指す。</p>

6-4 情報化社会の構築

【目指す姿】

全地域に整備した光ケーブル網で、情報通信技術（ICT）など情報媒体を活用したまちづくりと、誰もが電子情報の活用と発信ができる環境を整えます。

【まちのとりくみ】

項目1 情報の充実・促進

○行政放送、広報誌、ホームページ等、あらゆる手段で行政情報や議会情報を積極的かつ迅速に発信・交換していきます。

項目2 通信網の拡充・利活用

○通信網を生活や観光等に役立てます。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◆情報社会の提供事業	<p>公共施設において無料 Wi-Fi が利用できるよう環境整備を行った。</p> <p>玄海町ホームページ、ケーブルテレビ等を活用した情報発信を行った。</p> <p>デジタルの活用を促進するソフト面の取り組みについて実施することができなかった。</p> <p>○無料 Wi-Fi 設置 町内 8 施設</p> <p>○番組作成本数 R1_319 本、R2-319 本 R3-318 本</p>	<p>設備環境の整備にあわせてデジタル活用を促進するため国が示す「誰一人取り残さない」デジタル化の実現に向けたデジタルデバインド対策や情報発信環境の整備、見直し、SNS 等を活用した情報発信を行う。</p>

7 協働分野 住民が参画するまち

7-1 参画・協働の推進

【目指す姿】

地域自治の基本組織である行政区を核として、住民のつながりや連帯意識があります。
住民と行政がそれぞれの役割と責任を持って協働し、地域における課題解決のため、住民主体のまちづくりを目指します。

【まちのとりくみ】

項目1 住民参画の推進

○各種行政計画の策定委員等には一般公募を行い、住民と行政が一体となったまちづくりを進めていきます。

項目2 情報公開の推進

○説明責任を果たし、町政運営の透明性の確保を図るとともに適切な個人情報保護に努めます。

項目3 住民団体、ボランティア等の育成・支援

○各種団体の自主的な活動を育成・支援するため、住民が参加しやすい環境づくりに努めます。

項目4 交流活動の促進

○各種団体や地域間・世代間の交流活動を支援し、国際交流や大学との交流を促進します。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◆国際交流事業	<p>国際交流事業として町内の国際交流協会活動への補助や釜山外国語大学からの留学生の受け入れを行った。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により国際交流事業や活動が制約され、十分な活動促進と支援を行うことができなかった。</p>	<p>留学生の受け入れや協会への支援は、ウィズコロナを考慮しつつ実施できる体制を探る。</p> <p>また、日常的な交流として町内に在住の外国の方との交流や住みよい環境を提供するため多文化共生を主体に取り組む。</p>

7-2 地域コミュニティの育成

【目指す姿】

地域の連携や郷土意識の継承による魅力あるコミュニティの形成に向け、地域活動の充実と活性化を図ります。

【まちのとりくみ】

項目1 住民参画の推進

○地域コミュニティの力を地域の活性化に生かします。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◎持続可能な地域づくり対策	<p>コミュニティ助成事業は、毎年度各地区から申請があり令和4年度までに8地区で地区の公民館の備品等が更新され、対象地域におけるコミュニティカの強化に寄与した。</p> <p>地域イベント補助事業（令和2年度から制度開始）は、累計15件の申請があり13件の開催を支援することができた。</p> <p>まちづくり活性化促進事業は、令和2年度以降申請を受け付けることができなかった。</p>	<p>コミュニティ助成事業は、継続した周知を行い、地区のコミュニティ活動を支援する。</p> <p>地域イベント補助事業は、アフターコロナ下における地域活動について積極的に実施することができるよう支援する。</p> <p>まちづくり活性化促進事業は、ここ数年申請が無いことから制度見直しを検討する。</p>

7-3 人権尊重・男女共同参画の推進

【目指す姿】

人権感覚の育成に向け、人権教育・啓発を効果的・継続的に推進します。また、男女が互いに個性と能力を発揮し、自分らしく輝いて暮らせる社会の実現に向け、意識づくりや環境づくりを進めます。

【まちのとりくみ】

項目1 誰もが人権を尊重する環境づくり

○知識としてではなく、実践として人権感覚を持つことができるように努めます。
○問題の早期解決に向けた自立支援や人権擁護等の取組、また人権に関する相談体制の充実を図ります。

項目2 男女がともに生きる環境づくり

○女性の社会参加、男性の家庭参加を促進します。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◆人権啓発活動事業	<p>偶数月の第三水曜日に人権・行政・心配ごと相談を定期実施し、相談体制の確保を行った。</p> <p>また、啓発用品の全戸配布、寿教室参加者への配布による啓発活動と研修大会に議員や職員が参加し、実践的人権感覚の習得に努めた。</p> <p>○研修大会参加 R1_2件40人、R2_4件46人 R3_2件18人</p>	<p>SNS上における誹謗中傷の書き込みなど新たな人権問題への対応が必要であり、社会環境の変化に合わせた取り組みを検討する。</p>
◆男女共同参画事業 ◆若者向け地域活性化事業	<p>男女共同参画事業では各種啓発品の配布により啓発を行った。</p> <p>独身応援では結婚支援という目的のもと、結婚相談所登録支援や結婚相談所運営を委託し、独身者支援を行った。</p> <p>一方、独身交流推進事業は新型コロナウイルス感染症により支援できなかった。</p>	<p>男女共同参画事業は、具体的に女性が社会参加できる取組を検討する。</p> <p>独身応援事業は、結婚相談支援事業者の知見を利用し、より手厚いサポートを行う。</p> <p>独身交流推進事業は、対象となる交流会の要件を緩和し、利用者増加を図る。</p>

7-4 行政経営の推進

【目指す姿】

住民に信頼され、安心して生活できる行財政運営を進めるため、その効率化に取り組みながら、行政サービスの向上に努めます。

【まちのとりくみ】

項目1 町の持続的発展の推進
○町の維持発展のため、人口ビジョンに基づく玄海町版総合戦略を推進します。
項目2 柔軟な組織体制の確立
○横断的な重点戦略の執行など、弾力的な組織の運営に努めます。
項目3 広域行政の推進
○効果的な行政サービスとして、広域行政を推進します。
項目4 健全財政の確立
○税・使用料・負担金等の自主財源の確保に努めます。
○施策の評価を行い無駄のない歳出に努めます。
項目5 行政サービスの向上
○社会や住民のニーズの変化に対応し、顔の見える行政サービスの充実と向上を図ります。

【関連事業計画及び評価】

事業計画	主な取り組み、評価	後期計画へ向けた課題、対応
◆最小コストによる施策の最大効果発揮対策	第2期玄海町総合戦略について効果検証を行うため、外部人材によって構成される地方創生推進委員会にて進捗状況を報告し、外部人材による客観的意見により改善が図られた。 ○委員会 R3_1回	毎年度外部委員会に進捗状況を報告するとともに、意見を聴取し、総合戦略に反映することができるよう状況説明と意見聴取方法を工夫する。 さらに次期総合計画と総合戦略の計画策定について早期に取り組む。
◆玄海町デジタル変革推進事業	町内の行政事務に必要な基幹系システムの統一化、RPA、AI-OCRを活用した事務の効率化、全職員を対象としたチャットツールの導入により効率的な事務と情報共有の推進を図った。 庁内一体となった取組み体制づくりに取り組むとともに	情報担当が主となり進めてきたが、各担当課が自ら問題意識を持ち、デジタルの活用を前提とした業務改革等に取り組むことができる庁内の体制や風土づくりを整備していく。

	職員の意識変革に取り組んだ。	
◎税務	<p>口座振替による納付の推奨、コンビニ収納の導入、滞納整理方針に基づく滞納処分の強化等の取り組みにより徴収率を伸ばすことができた。</p> <p>令和4年度には使用済み核燃料税の税率を1kgにつき500円から550円に引き上げ、税収を増加させることができた。</p> <p>○徴収率 R1_98.91%、R2_98.98% R3_98.98%</p> <p>○使用済み核燃料税 R3_439,190千円 R4_483,109千円</p>	今後も滞納整理方針に基づき滞納額の縮減に努める。
◎財政関係経費	個別施設計画を策定及び財政計画の改訂により、財源とコストを把握し、経費の平準化を図った。	<p>将来の財源を見据え、新たな財源確保のほか、コスト面では施設の長寿命化にかかる経費を勘案し、公共施設の整理に取り組む。</p> <p>また、施設の運営方法や受益者負担についても議論に取り組む。</p>
◆財産管理経費 ◆総務一般経費	<p>窓口に必要な人員を配置し、サービスの充実に努めることができた。</p> <p>個別施設計画策定により、経費の平準化を実施。</p> <p>行政サービスに考慮しながら、コストを把握し、各公共施設の管理方法、今後の利活用について検証できた。</p>	<p>電子申請やコンビニ交付など、多様なサービスの提供と検証を行う。</p> <p>人口減少により施設利用が減少する一方、災害への対応や住民避難など、想定されていなかった規模や新たな機能も求められているため、全庁的な見直しに取り組む。</p>